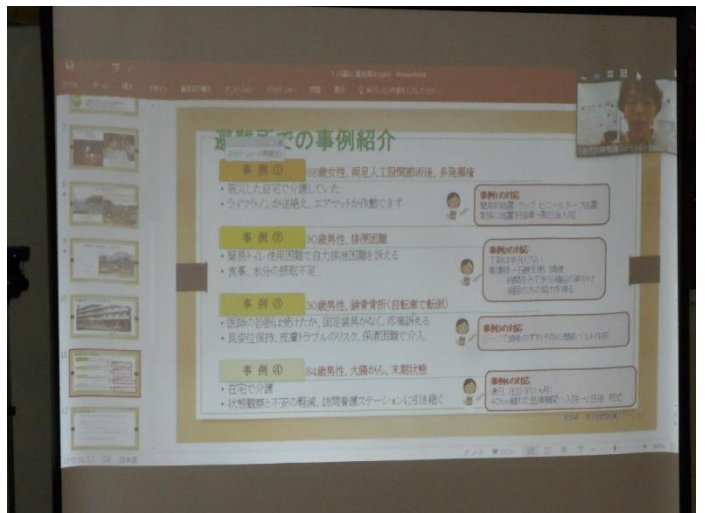


震災時の看護現場の

大変さを聞きました

6月23日(金)に、福祉コースの3年生が、宮城県のりあす訪問介護ステーション所長の阿部美智枝さんに、リモートで震災時の訪問看護体験の話をしていただきました。テレビや新聞の取材があり、震災の話題の関心の高さと学び意義の深さを感じました。



【生徒の感想】

- ・ ネットで震災の情報を聞いたことはあったけど、

医療・福祉の視点から見た震災の情報は無かったので、貴重な経験をすることができました。

- ・ いつ地震が起こるか分からないから、自分の命や大切な人の命を守るためにも、防災グッズを準備し、地震が起きた時にどうするかなど、家族と話し合いたいと思いました。
- ・ 震災時の話を聞き、とても怖く悲しくなりました。また、自分たちの行動で、救える命があることを知りました。